

問題作成方針に関する検討の方向性

【公共、倫理】

- 『公共、倫理』では、必修科目である「公共」と、その履修後に学習する選択科目である「倫理」を総合した範囲から出題する。
- 新学習指導要領に示されている「公共」及び「倫理」で育成することとされている資質・能力を一層重視したものとなるよう検討する。

[令和7年度試験の問題作成の方向性、試作問題等 | 大学入試センター \(dnc.ac.jp\)](http://dnc.ac.jp) (2022.11.9、大学入試センター)

参考【令和6年度】【現代社会・倫理】

【現代社会】

現代社会の課題や人間としての在り方生き方等について多面的・多角的に考察する過程を重視する。文章や資料を的確に読み解きながら基礎的・基本的な概念や理論、考え方等を活用して考察する力を求める。

問題の作成に当たっては、図や表など、多様な資料を用いて、データに基づいて考察し判断する問題などを含めて検討する。

【倫理】

人間としての在り方生き方に関わる倫理的諸課題について多面的・多角的に考察する過程を重視する。文章や資料を読み解きながら、先哲の基本的な考え方等を手掛かりとして考察する力を求める。

問題の作成に当たっては、倫理的諸課題について、倫理的な見方や考え方を働かせて、思考したり、批判的に吟味したりする問題や、原典資料等、多様な資料を手掛かりとして様々な立場から考察する問題などを含めて検討する。

問題作成方針

【令和7年度】

○ 「公共」は、人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現実社会の諸課題の解決に向け、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、多面的・多角的に考察したり構想したりする過程を重視する。

基礎的・基本的な概念や理論、考え方等を活用し、文章や資料を的確に読み解きながら考察する力を求める。

問題の作成に当たっては、現実社会の諸課題について理解したり考察したりするために必要な概念や知識に関わる問題、多様な資料を用いて考察する問題などを含めて検討する。

○ 「倫理」は、人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の倫理的諸課題を見だし、その解決に向け、多面的・多角的に考察したり、公正に判断し構想したりする過程を重視する。

「公共」での学習などを踏まえ、倫理に関する概念や理論についての理解を深め、それらを活用して、考察する力を求める。

問題の作成に当たっては、倫理的課題の解決に向け、先哲の思想に関する原典など多様な資料や他者との対話等を手掛かりにして、批判的に吟味して思索を深めたり、様々な立場から考察したりする問題などを含めて検討する。

【問題作成方針のポイント】

- ・「公共」では新たに「現実社会の諸課題について理解したり考察したりするために必要な概念や知識に関わる問題」が出題されることが明記された。
- ・「倫理」の問題作成について令和6年度からの追記として「倫理的課題の解決に向け、他者との対話等を手掛かりにして、批判的に吟味して思索を深める」ことがある。